

# ATTAS 11

## シリーズ史上最高の 高弾道を実現

最近のゴルフクラブとボールは、飛距離性能をアップさせるために「高初速」を開発のキーワードにしているケースが多い。「初速」は飛びの3要素のひとつであり、初速が上がればそれだけ飛距離が伸びる可能性があるのは確かだ。

しかし、一方で初速を追及すると打ち出しが低くなり、スピニング量が減ってしまう傾向がある。結果、「球が上がらずに飛ばない」と感じているアマチュアゴルファーが多くいるのも事実である。

そんな人々を救うべく、『アッタス11(ジャック)』の開発はスタートした。あらゆるゴルファーがやさしく球を上げられるシャフトとは？ 一般的に、ボールが上がりやすいシャフトのタイプといえば、ダブルキックだ。手元側と先端側の曲げ剛性を落とし、球をつかまえやすく、上がりやすくしているのが特徴だ。このタイプは、確かにボールが上がりやすい挙動になるのだが、実は弱点もある。シャフトの動きが大きくなるため、ハマるゴルファーとハマらないゴルファーの差、合うヘッドと合わないヘッドの差が顕著にでてしまうのだ。

試行錯誤の末、同社の開発スタッフが辿り着いたのは、“トルクのダブルキック”というこれまでにない発想だった。これまでの常識だった曲げ剛性ではなく、ねじれ剛性でダブルキックを表現したのだ(「デュアル・トルク・システム」)。中間部のねじれ剛性を高め、手元部と先端部のねじれ剛性を抑えた結果、あらゆるタイプのヘッドで打っても、あらゆるスイングタイプのゴルファーが打っても、高い打ち出し角を実現しやすい仕様になった。

トルクのダブルキック設計に加え、曲げ剛性を“走り系”にしている点にも注目だ。シャフト先端に最先端カーボン繊維「トレカ®M40X」を搭載したこととの相乗効果で、弾き感と振り抜きやすさが向上。飛距離性能をさらに高めることに成功している。『アッタス11』と高初速ヘッドと組み合わせて使えば、かつてない“最高”の弾道を手にできるはずだ。

誰でもやさしく球が上がる  
トルクのダブルキックで

### SPEC

ATTAS 11 4	ATTAS 11 5	ATTAS 11 6	ATTAS 11 7
フレックス/R、S、X	フレックス/R、SR、S、X	フレックス/SR、S、X	フレックス/S、X
チップ径/8.50mm	チップ径/8.50mm	チップ径/8.50mm	チップ径/8.50mm
バット径/15.30mm	バット径/15.30mm	バット径/15.30mm	バット径/15.35mm
トルク/6.2度	トルク/4.6度	トルク/3.8度	トルク/3.3度
重量/48グラム	重量/58グラム	重量/66グラム	重量/75グラム
キックポイント/中調子	キックポイント/中調子	キックポイント/中調子	キックポイント/中調子
価格/4万円+税	価格/4万円+税	価格/4万円+税	価格/4万円+税
※データはRフレックス	※データはSフレックス	※データはSフレックス	※データはSフレックス

